

2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月7日

上場会社名 JIG-SAW株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3914 URL <https://www.jig-saw.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 真考
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 博道 (TEL) 03-6262-5160
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	638	22.7	105	56.1	102	△37.6	68	△37.3
2020年12月期第1四半期	520	23.2	67	△37.4	164	17.6	108	13.2

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 88百万円(—%) 2020年12月期第1四半期 △68百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	10.32	10.11
2020年12月期第1四半期	16.57	16.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	2,207	1,671	75.7
2020年12月期	2,175	1,583	72.8

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 1,671百万円 2020年12月期 1,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

ストック型ビジネスの堅調な推移により現時点において過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、国内だけにとどまらないグローバルなIoT事業の大きな成長とそのための事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	6,751,000株	2020年12月期	6,751,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	156,625株	2020年12月期	156,625株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	6,594,375株	2020年12月期1Q	6,553,375株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、IoT、ビッグデータ、AIといったデジタル技術の活用により、これまでデジタル化が進まなかった領域にもデジタル化の波が押し寄せ、サイバー空間とリアル空間が完全同期し、あらゆるレベルにおいて変革や新たな価値の創造が生まれる社会へと向かっています（出典：総務省「令和2年版 情報通信白書」）。

このような環境のなかで当社グループは、保有する基盤コア技術を応用し、IoT、IIoT分野に加え「生物・細胞」がインターネットとつながるIoE（Everything）、そして人間の能力を拡張させるIoA（Abilities）分野におけるビジネスデザインを、グローバルで着実に進めております。

当社のクラウド・IoT分野を包括するデータコントロール事業の売上は、安定した完全サブスクリプションモデル（完全ストック型ビジネス）の継続課金売上と一時的なスポット売上で構成されています。当第1四半期連結累計期間においても、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けることなく、引き続き解約率の低い月額課金案件の受注獲得を推し進めており、前年同期と比較して月額課金売上は124,835千円純増し、上場以来25四半期連続で過去最高の月額課金売上のプラス成長となり極めて堅調に推移しております。なお、当第1四半期連結累計期間における営業利益の前年同期増減率は+56.1%となり、現在実施している猛烈な先行投資を回収する大幅改善となりました。

特にIoT分野では、IoTエンジン「NEQTO」をベースにグローバルビジネスの基盤構築を加速させるとともに、エンタープライズレベルのIoTソリューションに大きく寄与するスピーディーかつシンプルなソフトウェアサービスを提供しています。世界を代表する大手クラウドプラットフォームやSaaS、大手通信キャリア等の提携による統合ソリューション等により、業種や規模に一切とらわれることなく世界中のあらゆる機器・機械・設備をシームレスに接続するための環境が構築されるとともに、全世界における双方向データ制御のIoTサービス実現に向かっております。さらに、視覚再生プロジェクト（NEW-VISION）は国内に続き米国特許を取得し、自動操縦標準機開発プロジェクトにおいては協調制御の実証実験に成功するなど、当社グループのコア技術は着実な進化を遂げております。また、引き続き今後の高い事業成長を実現すべく、将来に向けた投資である研究開発費・販売促進費・人件費・グローバル展開のための先行投資を前年同期と比較し約63,000千円大幅に増加させております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高638,846千円（前年同期比22.7%増）、営業利益105,964千円（前年同期比56.1%増）、経常利益102,789千円（前年同期比37.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益68,040千円（前年同期比37.3%減）となりました。

なお、当社グループはデータコントロール事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、1,442,068千円（前連結会計年度末比24,148千円増）となりました。これは主に、その他に含まれる前払費用が増加（前連結会計年度末比54,184千円増）、売掛金が増加（前連結会計年度末比18,027千円増）した一方で、現金及び預金が増加（前連結会計年度末比42,644千円減）したことによるものであります。

また、固定資産は、765,540千円（前連結会計年度末比7,530千円増）となりました。これは主に、投資有価証券が増加（前連結会計年度末比16,891千円増）した一方で、有形固定資産が減少（前連結会計年度末比8,680千円減）したことによるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、2,207,609千円となり、前連結会計年度末に比べ31,678千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、375,418千円（前連結会計年度末比42,563千円減）となりました。これは主に、その他に含まれる未払金が増加（前連結会計年度末比27,210千円減）、その他に含まれる未払消費税等（前連結会計年度末比10,693千円減）が増加したことによるものであります。

また、固定負債は、160,400千円（前連結会計年度末比14,474千円減）となりました。これは主に、長期借入金が増加（前連結会計年度末比15,000千円減）したことによるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は、535,818千円となり、前連結会計年度末に比べ57,037千円

減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、1,671,791千円(前連結会計年度末比88,716千円増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加(前連結会計年度末比68,040千円増)したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ストック型ビジネスの堅調な推移により現時点において過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、国内だけにとどまらないグローバルなIoT事業の大きな成長とそのため事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	890,290	847,646
売掛金	425,967	443,994
その他	101,704	150,469
貸倒引当金	△41	△41
流動資産合計	1,417,920	1,442,068
固定資産		
有形固定資産	258,439	249,759
無形固定資産	41,081	42,473
投資その他の資産		
投資有価証券	96,663	113,555
敷金及び保証金	235,790	234,944
繰延税金資産	83,653	82,859
その他	42,921	43,280
貸倒引当金	△540	△1,331
投資その他の資産合計	458,489	473,308
固定資産合計	758,010	765,540
資産合計	2,175,930	2,207,609
負債の部		
流動負債		
買掛金	130,985	128,526
1年内返済予定の長期借入金	68,018	64,019
未払法人税等	39,437	43,342
その他	179,540	139,529
流動負債合計	417,981	375,418
固定負債		
長期借入金	165,000	150,000
その他	9,874	10,400
固定負債合計	174,874	160,400
負債合計	592,855	535,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,107	351,107
資本剰余金	310,580	310,580
利益剰余金	1,630,995	1,699,035
自己株式	△696,232	△696,232
株主資本合計	1,596,451	1,664,492
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,311	1,374
為替換算調整勘定	△10,067	5,921
その他の包括利益累計額合計	△13,379	7,296
新株予約権	2	2
純資産合計	1,583,075	1,671,791
負債純資産合計	2,175,930	2,207,609

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	520,864	638,846
売上原価	151,096	201,969
売上総利益	369,768	436,877
販売費及び一般管理費	301,877	330,912
営業利益	67,890	105,964
営業外収益		
受取利息	14	7
助成金収入	4,569	3,176
為替差益	1,555	—
投資有価証券売却益	90,680	—
その他	274	51
営業外収益合計	97,094	3,235
営業外費用		
支払利息	133	97
為替差損	—	5,526
その他	21	786
営業外費用合計	154	6,410
経常利益	164,831	102,789
特別損失		
解約手数料	11,472	—
特別損失合計	11,472	—
税金等調整前四半期純利益	153,358	102,789
法人税、住民税及び事業税	40,066	35,462
法人税等調整額	4,719	△712
法人税等合計	44,785	34,749
四半期純利益	108,573	68,040
親会社株主に帰属する四半期純利益	108,573	68,040

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
四半期純利益	108,573	68,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△168,930	4,686
為替換算調整勘定	△8,086	15,989
その他の包括利益合計	△177,017	20,676
四半期包括利益	△68,444	88,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△68,444	88,716
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、データコントロール事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。